

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-520002(P2005-520002A)
 【公表日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-026
 【出願番号】特願 2003-526982(P2003-526982)
 【国際特許分類】

C 0 8 J 5/22 (2006.01)
 H 0 1 B 1/06 (2006.01)
 H 0 1 M 8/02 (2006.01)
 H 0 1 M 8/10 (2006.01)
 C 0 8 L 27/18 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 5/22 C E W
 H 0 1 B 1/06 A
 H 0 1 M 8/02 P
 H 0 1 M 8/10
 C 0 8 L 27:18

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 26 日 (2005.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) フィブリルによって相互に結合されたノードから本質的になるとともに、前記ノードが、実質的に平行に整列されており、高度に伸長されておりかつ 25 : 1 もしくはそれ以上のアスペクト比を有している、内部微細構造を有する延伸膨脹ポリテトラフルオロエチレン隔膜、及び

(b) 前記隔膜にその全体を通じて含浸されたイオン交換材料であって、含浸後の延伸膨脹ポリテトラフルオロエチレン隔膜が、10,000 秒よりも大きなガーレイ (Gurley) 数を有し、その際、前記イオン交換材料が、前記隔膜に実質的に含浸せしめられ、前記隔膜の内部容積を実質的に閉塞している、イオン交換材料を含む複合隔膜。

【請求項 2】

縦方向の寸法安定性が 6 % 未満である、請求項 1 に記載の複合隔膜。

【請求項 3】

縦方向の寸法安定性が 4 % 未満である、請求項 1 に記載の複合隔膜。

【請求項 4】

縦方向の寸法安定性が 2 % 未満である、請求項 1 に記載の複合隔膜。

【請求項 5】

横断方向の寸法安定性が 10 % 未満である、請求項 1 に記載の複合隔膜。

【請求項 6】

横断方向の寸法安定性が 8 % 未満である、請求項 1 に記載の複合隔膜。

【請求項 7】

横断方向の寸法安定性が 6 % 未満である、請求項 1 に記載の複合隔膜。

【請求項 8】

横断方向の寸法安定性が 4 % 未満である、請求項 1 に記載の複合隔膜。

【請求項 9】

ショートに対する圧力が 4 0 0 p s i よりも大である、請求項 1 に記載の複合隔膜。

【請求項 1 0】

ショートに対する圧力が 2 0 0 p s i よりも大である、請求項 1 に記載の複合隔膜。

【請求項 1 1】

請求項 1 に記載の複合隔膜とアノード及びカソードを含む隔膜電極アセンブリ。

【請求項 1 2】

請求項 1 1 に記載の隔膜電極アセンブリを含む燃料電池。

【請求項 1 3】

請求項 1 に記載の複合隔膜と少なくとも 1 個のアノード及びカソードを含む電解質セル。

【請求項 1 4】

縦方向の強度が 8 , 5 0 0 p s i よりも大である、請求項 1 に記載の複合隔膜。

【請求項 1 5】

横断方向の強度が 8 , 5 0 0 p s i よりも大である、請求項 1 に記載の複合隔膜。

【請求項 1 6】

面貫通水和膨脹が 3 0 % よりも大である、請求項 1 に記載の複合隔膜。

【請求項 1 7】

面貫通水和膨脹が 4 0 % よりも大である、請求項 1 に記載の複合隔膜。

【請求項 1 8】

相互に結合された通路及び経路を形成したノード及びフィブリルの微細構造を有しかつ硬度が 1 , 0 0 0 m P a よりも大である基材と、前記基材にその全体を通じて含浸されたイオン交換材料とを含む複合隔膜であって、前記複合隔膜が、1 0 , 0 0 0 秒よりも大きなガーレイ (Gurley) 数を有し、その際、前記イオン交換材料が、前記基材に実質的に含浸せしめられ、前記通路及び経路を実質的に閉塞している、複合隔膜。